

令和5年度鶴見区区政会議 第2回地域保健福祉部会 会議要旨

1 日時 令和5年11月27日(月) 午後7時35分～午後8時32分

2 場所 鶴見区役所 3階 302・303会議室

3 出席者
(委員)

南口部会長、桑名副部会長、有村委員、金児委員、西山(靖)委員、橋本委員*、
原田委員、万谷委員、保田委員 (*はWeb参加)

(鶴見区役所)

大川生活支援担当課長、仲田総務課政策推進担当課長代理兼市民協働課長代理、秋本市民協働課長代理
橋本福祉担当課長代理、上山保健担当課長代理、菅野保健副主幹、徳市民協働課担当係長兼保健福祉課
担当係長、木田保健福祉課担当係長、當麻保健福祉課担当係長

4 議題

- (1) 部会長・副部会長の選任について
- (2) 令和6年度鶴見区運営方針(素案)について

5 議事要旨

- (1) 部会長・副部会長の選任について

部会長は委員の互選により南口委員、副部会長は部会長の指名により桑名委員が選任された。

- (2) 令和6年度鶴見区運営方針(素案)について

事務局から「令和6年度鶴見区運営方針(素案)」(資料1)について説明を行い、委員から受けた主な意見等の概要(◇)及び事務局からの回答(➡)は次のとおり。

◇ (資料6頁) イベントの参加者アンケートで「健康に関する取組へのきっかけとなった」と回答した区民の割合を高めることを目標にしているが、参加者は元々健康意識が高い可能性が高く、むしろイベントに来ない高齢者にどうアプローチするかという視点が重要。引込み思案な方をどのように会議などの場に出してきて意識を高めてもらうかというところに指標を設けるのはどうか。例えば、「日常の運動習慣」を問い、運動習慣がある方、ない方に対してアンケートを取るのはいかがでしょうか。

➡ 今までは「日常の運動習慣」の有無に関わらず、イベント(健康展)の参加が「きっかけになったか」のみを集計してきた。今後「きっかけになった」と回答した方に「日常の運動習慣」の有無を問うことは可能だと思われるため、今後の検討事項とさせていただきたい。

- ◇ 金児委員のご意見は、普段運動習慣のない方にこそ参加してほしいという思いから、まずはアンケートを取ることからでも始めてみてはということと推察する。難しいと思うが、運動習慣のない人を場にどう出してくるのかという、アンケート以上にその方策なのかなという感想を持った。
- ➔ どういう形になるか即答はできないが、運動習慣のない方にどうアプローチしていけるか検討を進めてまいりたい。
- ➔ 「中期計画（資料3頁）」では、区民アンケートで「運動や食生活など健康に関する取組を行っている」と回答した区民の割合を指標にしており（R4実績値83.2%）、「単年度の取組（資料6頁）」では、イベントの参加者アンケートを指標としているが、そこに新たな指標を追加するかどうかというご意見かと思われる。単年度の取組の目標値の方にも反映させるかどうかは検討していけたらと思う。

- ◇ 内閣府のムーンショット計画、大阪府のスマートシティ計画に関連して「楽なび」というシニアに向けての行政サービスのLINEのアプリが、阿倍野区等での実証実験を通じて作成されている。シニアや福祉向けのポータルサイトのような内容で、色々な買物支援やオンライン診察等のサービスが提供されている。多くの高齢者はスマホを持っており、アプリをダウンロードすれば簡単にアクセスできる。アンケートも、ボタン一つで、スマホで選択できる時代。紙媒体の人には、そういうスマホでのアンケートや健康教室とかの写真を広報で紹介してもらえたら、刺激になって真似しようかと思う人は絶対出てくる。引き籠もっているように見えても、SNSの中では饒舌に語り活躍している高齢者が多く、引き籠もっているかどうかは、ぱっと見では分からない。広報で「楽なび」のQRコードを載せ、区政委員にも興味持っていただく等して、大阪府で「楽なび」アプリをはやらせ、コンテンツを充実させて、オンラインで色々できると分かれば、若い方も使用するようになると思う。意外と潜在的に関心のある人、活発な人は多いので、広報のトップページに「楽なび」を載せていただいたら登録者が増えると思う。
- ➔ 「楽なび」について把握していきたい。

- ◇ （資料6頁）『栄養』『食生活』『運動』『たばこ』などの健康に役立つ」とあるが、たばこが健康に役立つかのような誤解を招くのではないか。どういう意味で書かれた文言か。
- ➔ たばこの吸い過ぎ等による健康への影響という意味で記載していた。文言は検討させていただきたい。

- ◇ 障がい者福祉の相談支援員の人数が不足しておりなかなか相談に乗ってもらえない。今後ヘルパーステーションの方にも相談支援の資格を取ってもらいたい。相談支援員の人数と相談支援員を必要としているニーズがどれぐらいあるか資料を準備してほしい。

- ◇ 勉強会・意見交換会は全体会議終了後に余裕があればということだが、全体会議でもかなり時間を使う。委員の体調や家の都合があれば、勉強会は退席してもいいのか、残らないといけないのか。

- ➔ 勉強会・意見交換会は、全体会ではなく次回の部会終了後に開催したいと考えている。昨年度も第3回目の部会は議題が少なく約30分で終わった経過がある。所用で参加できないのは仕方がないとする。
- ◇ 区役所の会議は開始時間が遅く、今も20時半になっている。早く来られないから開始時間が遅い方がいい人もいるだろうが、家庭の事情等がある委員もいるので、調整をした上で検討してもらいたい。
- ➔ 他の部会は19時から開始していたが、地域保健福祉部会は時間が早い方がいいというご意見が多く、昨年度は18時半から開始していた。この部会の開催時間についても、別途委員の意向を確認して判断したい。

6 会議資料

- (1) 次第
- (2) 令和6年度鶴見区運営方針（素案） （資料1）